

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Practice in Reading and Listening A		
英文授業科目名	Practice in Reading and Listening A		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-選択科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	樽井 武		
居室	東1 - 712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>アカデミックな分野で使用する英語の2つの技能（読む力と聴く力）の向上を目指す。具体的には、自分の興味のあるトピックを選び、様々な資料を利用してreadingとlisteningを行う。Readingでは、語、構文の学習を通して文の意味を正確に把握した上で、文章のまとめを日本語・英語でできるようにする。Listeningとしては、聴いた内容を要約（日本語・英語）した上で、英文のdictationを行い聴き取れない英語を知る。次にそのような英語を英語らしく発音できるまで訓練する。また、学習過程に収集した意味解釈に困難を覚える英文の構造や聴き誤りを分析しレポートにまとめる。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
1年の英語の必修科目

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：Power-Up English JACETリスニング研究会編 南雲堂

【授業内容とその進め方】
教科書のモデル学習を通して学習方法やまとめ方等を学んだ後で、学生は各自の興味に応じて個別学習を行う。その結果を様々な形で発表し、他の学生等の評価を参考にしながら最終課題に取り組む。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業関連（予習・発表・まとめ等）[50%]および課題[50%]

履修条件：

正当な理由なく授業の1/3以上欠席した場合は、単位を認めない。

英語力の一部の客観的評価を得るためにTOEICテストを受験することが望ましい！

課題

意味解釈の困難な英文のまとめ、聴き取れない英語のまとめ、スピーキングの録音等

【オフィスアワー：授業相談】

予約のある相談に応じる。

【学生へのメッセージ】

受講する時の英語の力は問わない。英語が苦手、普通、ちょっと得意、英語オタク等どんな学生でも歓迎する。本講義で準備したプログラムを学習して、本当の英語力の獲得を強く望む学生の参加を強く望む。講義・学生諸君の個人学習・言語自習室や図書館等を十分に活用し、技術者に必要とされる英語の基礎を確実に身に着けるための講義を目指している。通年を通して学んだ結果がTOEICテストのスコアで100点UPするのが目標である。（ただし、本講義はTOEICテストの準備講座ではない・・・念のため。）

【その他】

言語自習室のプログラムとも有機的に関連している講義である。英語の発音（リズム）の定期的測定（4月・7月）および発音（リズム）の練習（初級・中級・上級）を行う。また、TOEICテストを受験して各自の英語力の向上を客観的に把握する。TOEIC受験の準備（訓練）としては、ALCの自習教材を使用することもできる。